

議員発議案第6号

コロナ後遺症及びワクチン後遺症への対応強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症から回復した後も、長期にわたって疲労感、呼吸困難、筋力の低下、記憶障害などの後遺症、いわゆるコロナ後遺症について厚生労働省研究班が大規模調査を実施している。

また、新型コロナワクチンの接種が進む一方で、接種後の体調不良や歩行困難、関節痛、慢性疲労等の遷延する症状、いわゆるワクチン後遺症を訴える人も報告されている。

これら後遺症に苦しむ人の中には、検査をしても異常が見つからず、周囲の理解不足に悩まされている人もいる。コロナ後遺症及びワクチン後遺症の発症の仕組みはいまだに解明されておらず、どんな症状がどんな人に起こるのか、どれだけ長く続くのか依然として不明のまま、効果的な治療法も確立していない。

よって、国においては、悩んでいる患者に寄り添い、以下の施策を実施することを強く要望する。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症の後遺症の実態調査や研究を引き続き行い、治療方法等について情報収集や研究等、その成果を速やかに発信すること。
- 2 新型コロナウイルス感染症の後遺症及びワクチン後遺症への理解が進むよう啓発を行うとともに、社会全体で認識を深め、患者が孤立することがないよう積極的な情報発信に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月14日

宮 崎 県 議 会

衆議院議長	額賀福志郎	殿
参議院議長	尾辻秀久	殿
内閣総理大臣	岸田文雄	殿
厚生労働大臣	武見敬三	殿
内閣官房長官	林 芳正	殿
内閣特命大臣(経済財政政策)	新藤義孝	殿
感染症危機管理担当大臣		